

結心会 関東報告会

金融庁の検査テーマに

代理店の対応など解説

保険健全化推進機構 意点などを解説した。「結心会」(上野直昭会長)は6月7日、横浜市のみなとみらいセンタービルで関東地区報告会を開き、新日本有限責任監査法人の牧野明弘氏が「保険代理業者に係る当局検査の動向」をテーマに講演した。金融庁による保険会社や代理店に対する検査の動向について、基本方針や実際の検査のプロセス、検査対象となった場合の対応の留

でプラスになる。検査官の方針を見極める必要がある」と指摘した。

検査の基本プロセスでは、検査が事前予告を経る場合、当局での内部調整を経て検査に入るのが基本になることから、7月からの新検査年度をま

8月22日以降になされることと考えられる」との見方を示した。同日に予告があった場合は2週間

後の9月5日に立ち入り検査が行われ、同時に会社や事業の概要を聞き取るプレヒアリングが行われると説明。プレヒア

の留意点として「検査官の求める情報を簡潔に説明すること、検査官の心証が良くなる」とアド

バイス。それにより検査期間や検査範囲が企業にとって有利に運ぶ可能性が高まると述べた。

わけ・相談・要望・受付に関するリストの内容を検査官は重視していると述べると、日常からの準備の必要性を強調した。また、検査対象が代

比べて弱い存在とはみていない」と指摘するなど、代理店も周知な準備が必要だとの見方を示した。

やネットでの見込客の集客を得意とする企業との提携などが考えられるのではないかと述べるなど、その一端を紹介した。

競争が激化している要因の一つとして「各ショップの動向について概説。保険ショップ間での競争が激化している要因の一つとして「各ショップの動向とともに、保険料の単価アップと面談時間を長くするコンサルティンク型の対応を目指しているなど、同方向の戦略を立てていることが考えられる」と述べた。



挨拶する上野 直昭会長



講演する牧野 明弘氏